

**国民民主** こくみんみんしゅ  
**Press**  
KOKUMIN MINSHU PRESS  
国民民主党 国民民主プレス 編集部  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3 Nagatacho GRID 4F  
TEL : 03-3593-6229 MAIL : info@new-kokumin.jp H P : new-kokumin.jp

号外  
2024年2月

【連絡先】国民民主党茨城県第5区総支部(浅野さとし事務所)

国会事務所

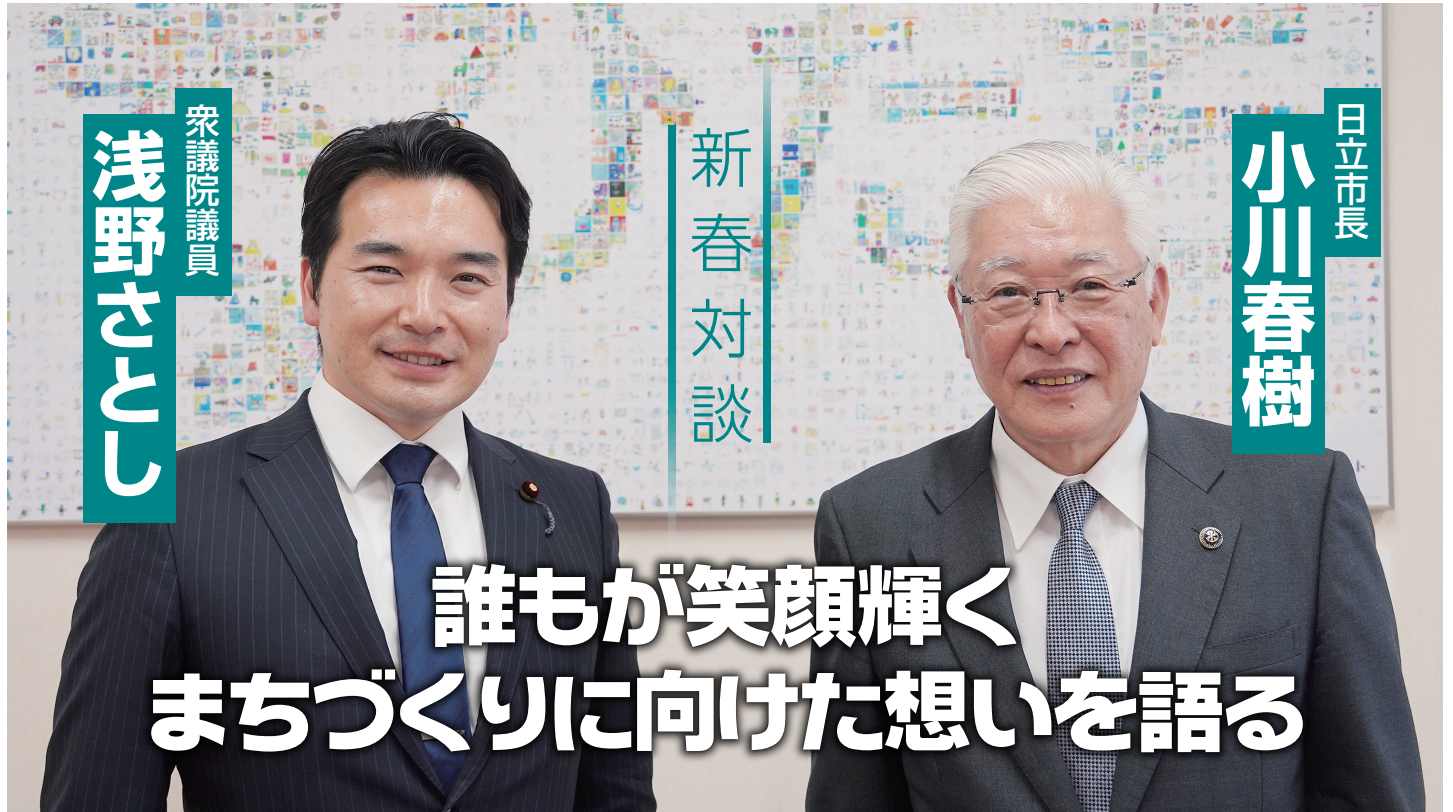
〒100-8981  
東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館406号室  
TEL : 03-3508-7231  
FAX : 03-3508-3231

日立事務所

〒317-0071  
茨城県日立市鹿島町1-11-13  
TEL : 0294-21-5522  
FAX : 0294-21-3014

公式サイト

<https://asanosatoshi.com/>



2024年新春特別企画として、本年も小川春樹 日立市長との特別対談を実施させていただきました。対談では、災害対応、物価高騰対策、子ども・子育て世代への支援等に取組んだ2023年を振り返り、今後のまちづくりの展望についての思いを語っていただきました。

## 2023年の振り返り

### デジタル技術を活用して 市の活性化に向け尽力

**浅野衆議院議員 (以下、浅野)** 昨年は市長選挙がありました。

小川市長自身にとって初めての選挙戦を経て3期目をスタートされましたが、3期目の抱負について改めてお聞かせください。また、昨年一年を通じて、小川市長の印象に残っている出来事や、特に注力した施策、手応えのあった取組み等があればご紹介いただけますか。

**小川日立市長 (以下、小川)** 新年あけましておめでとうございます

ます。浅野先生におかれましては、旧年中も、本市の災害対応や幹線道路の整備促進を始め、市政各般にわたり多大な御支援を賜り、心より感謝申し上げます。また、昨年9月に発生した台風第13号の際には、浅野先生はもとより、玉木代表を始めとした国民民主党議員団の皆様により、市内の被災状況をご視察していただくとともに、災害復旧に向けたご支援をお約束いただくなど、被災自治体の長といたしましては、この上なく心強いものでございました。

さて、昨年4月の統一地方選挙では、2期8年間の取組みを更に推進し実現するために、3期目に挑戦し、実に24年ぶりの選挙戦となったわけですが、多くの皆様からのご支援を賜り、当選させていただきました。浅野先生には、この場をお借りして、改めて感謝申し上げます

とともに、3期目となる市長の重責を感じているところでございます。

私にとって初めてとなる選挙戦におきまして、市内各地で街頭演説会を行ない、市政運営に対する思いと政策を訴えさせていただいたところですが、市民の皆様と触れ合う中で、私に対する期待を改めて感じ、身が引き締まる思いでした。

引き続き、「全ては市民の皆様のために」、「全ては日立市のために」を最大の公約として、広く市民の皆様の声聞き、ともに歩む中で、子どもから高齢者まで、全ての世代が未来に夢や希望を持ち、安心して健やかに暮らせるまちづくりに全力を傾けてまいります。

こうした一方で、昨年は、台風第13号に伴う線状降水帯による記録的な大雨によって、かつてない規模の被害をもたらされたところでございます。現在は、被災された方々の住まいや暮らしの再建に向けた支援を始め、公共施設などの応急復旧工事につきましても、円滑に推進しており、豪雨被害からの復旧に向けた工程は、応急復旧期から本格復旧期に移行しているものと認識しております。そして、本格復旧に向けた取組みを更に推進していくため、「日立市災害復旧基本計画」を本年3月までに策定してまいります。

そのような中でも、昨年は、日立駅前の大型商業施設「ヒタチエ」のリニューアルオープンを始め、さくらまつり・産業祭が実に4年ぶりに本格開催されましたほか、会瀬スポーツ広場やかみね動物園のビーバー舎のオープン、更には、小・中学校・特別支援学校への電子黒板の配置や給食費の完全無償化など、多くの重要事業を推し進めることができたものと考えております。

また、本市が創業の地であり、株式会社日立製作所と本市は、「デジタルを活用した次世代未来都市（スマートシティ）の実現に向けた共創プロジェクトに関する包括連携協定」を締結いたしました。

包括連携協定の締結によりまして、全ての市民の皆様が、豊かに生活することのできるまちづくりをめざし、デジタル技術の活用と共創活動の推進を通じて、日立市全体の活性化及び安全・安心な暮らしを実現してまいります。

そして、県北の中心都市としての役割を更に発揮できるよう、将来に向けて持続可能なまちづくりに尽力してまいります。

**浅野** こうして伺ってみると、昨年は実に様々な出来事があったのだと改めて思い出されました。小川市長の選挙では、私が応援に入らせていただいた際も申し上げましたが、小川市長が就任されて以降、震災復興の象徴となるであろう市庁舎や消防署、池の川さくらアリーナ、シーマークスクエアなどが次々と完成し、これからは次の段階に進むこと

に期待を込めて演説を行なわせていただきましたが、早速、日立製作所との共創プロジェクトが始まると伺って、更に期待が膨らんでいます。このプロジェクトは日立市の将来にとって非常に大きなインパクトを与えていると思っておりますので、引き続き、緊密な連携のもと、新たな日立市の未来像とともに描いていけたらと思っています。また、台風第13号による被害も甚大なものでした。今後はあのような規模の豪雨にも耐えられるよう、国で進めている国土強靱化施策の内容についても不断の見直しを進めていきます。

## 物価高騰対策について

### 市民や事業者に寄り添いきめ細やかな対応を講じる

**浅野** 昨年来、食料品や日用品が値上げされ、更に、電気代高騰の傾向は、政府の緩和措置などがあったものの、2024年以降も継続する見込みです。

昨年、日立市として市民生活や地域経済を支えるために行なった施策や本年新たに取組もうと考えている事について教えてください。

**小川** 昨年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染防止上の位置付けが、季節性インフルエンザと同じ5類に変更され、3年間に渡り様々な活動が制限されたコロナ禍からの大きな転換点を迎えたことと安堵する間もなく、現在も、不安定さを増す国際情勢を背景とした原油価格や物価の高騰に直面しております。しかも、物価高騰の流れは、更なる長期化の様相を見せており、市民生活や企業活動に多大な影響を与えているものと考えています。

本市では、その対策として、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地方公共団体が地域の実情に応じた支援に活用することができる、国の地方創生臨時交付金を活用して、市民生活・事業者等への支援など、他市に先駆けて、本市独自の様々な支援策に取り組んでいるところです。

昨年は、生活者への支援としましては、住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり3万円を支給することで、物価高騰の負担感がより大きい低所得者世帯の負担軽減を図りましたほか、省エネ性能の高いエアコン、冷蔵庫の買換え等のための購入費用の一部を補助し、電気料金の高騰による家計の負担軽減を図るとともに、脱炭素社会の実現に資する支援として取り組んでまいりました。

一方、事業者への支援といたしましては、物価高騰の影響が大きい中小企業等に対し、1事業者当たり10万円



を支給し、事業の継続及び経営の安定化を支援しましたほか、今後の様々な事業展開を見据え、受注の獲得に向けた展示会への出展やECサイトの構築などの経費に対し、上限100万円の補助金を交付して、営業力の強化に取り組む中小企業を支援してまいりました。

これらの取り組みによりまして、生活者及び事業者のそれぞれの事情に応じた物価高騰対策が図られ、家計の負担軽減や中小企業等の経営状況への影響緩和につながるなど、一定の効果があったものと捉えております。

そのような中、国は、昨年11月に物価高対策や持続的賃上げなど5つの柱による「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を打ち出し、その財政的な裏付けとなる令和5年度補正予算が、国民民主党の賛成も得て、11月29日に成立したところで。

この経済対策の中には、物価高騰に最も切実に苦しんでいる低所得世帯を始め、生活者や事業者を支援するために、国全体で1兆5,592億円の地方創生臨時交付金が追加され、地方公共団体が地域の実情に応じた支援を行なうことが求められております。

今後も不安定さを増す国際情勢などを背景とした諸物価高騰の影響により、地域経済の先行き不透明な状況が続くことが想定され、市民生活にも大きな影響を及ぼすことが懸念される場所ではありますが、本市といたしましては、引き続き、地方創生臨時交付金を有効に活用するなどして、市民や事業者に寄り添い、支援を必要とする方へのきめ細やかな対応を時期を逸することなく、しっかりと講じてまいりたいと考えております。

**浅野** 日立市でも様々な物価対策を講じていただき感謝いたします。国の地方創生一括交付金を活用した各種の補助事業や給付事業は、確実に市民の皆様の生活の底支えにつながっていると思う一方、矢継ぎ早に施策が打たれたことで、自治体職員の皆様には多大なご負担をおかけしてしまっているのも事実です。今後は現場でのDX化なども進み、多少負担が軽減されていくとは思いますが、国の方でもどうすれば自治体に負担をかけずに国民の皆様それぞれに必要な支援を届けられるのかを考えていかなければなりません。マイナンバーの活用や自治体が使用している情報システムの最適化など「現場主義」で取り組んでいきます。

## 若者の声を活かす市政について

### 「若者かがやき会議」など 若者のチャレンジを全力で応援

**浅野** 日立市は、ひたち若者かがやき会議の活動を通じて多くの若者達の声を市政に反映すべく活動を続けていますが、市長はこれまでの取り組みをどの様に見ていますか。また今後、日立市に多くの若者が足を運び、活動拠点としてもらうために考えていることがあれば教えてください。

**小川** 本市では、令和3年に策定しました「ひたち若者かがやきプラン」のめざすべき姿に掲げた「かがやく若者であふれるひたち」の実現に向け、自分らしい生き方を見つけ、夢や目標を実現し、幸せを感じられる暮らしができることを願い、本市での暮らしが、育ちの場、学びの場、成長の場そして何よりも安住、活躍の場となるよう、若者のチャレンジを全力で応援しています。

プラン推進のカギを握るのは、若者世代が生き生きと輝くことであり、若者の活躍が地域全体の力を高める原動力につながり、多世代に大きな影響を与える力を発揮できると期待しているところです。

プランに掲げた取組みの一つとして、まちのにぎわいづくり、魅力づくりを目的に設立した「ひたち若者かがやき会議」も、今年で3年目を迎えます。

メンバーとは、定期的に面会し、活動報告をいただいておりますが、毎回、活動を通して、若者の想いがしっかりと伝わってきます。会議の代表から、「『やりたい』というパワーがあれば可能性は無限大だと思っている。市と一丸となって本気で事業に挑戦していきたい」との熱い想いを聞き、私も改めて応援していきたい

と感じたところでは。

これまでの活動は、本市で暮らしながら働く体験を通じて魅力を知る「産直講座」や、若者目線でひたちらしさを発信するポータルサイトの運営、更には、ひたち若者かがやき会議のメンバーが、市内大企業の研修へ講師として招かれるなど、若者のアイデアを存分に取り入れながら様々なプロジェクトに取り組んでいます。とりわけ、浅野先生にも御参加いただきましたが、若者の皆さんが一堂に集まり、ひたちの未来について意見交換が行なわれる「若者会議全体会」は、年に2回開催されており、若者の率直な御意見を伺う貴重な場となっています。

参加する若者は、市内居住者だけではなく、仕事や学校の都合で県外に移り住んだ方もおり、この全体会が、「日立の良さを再発見できた」、「魅力をもっと発信したい」、「日立市を離れてしまったけど、日立市とのつながりができてうれしい」など、地元とつながる場であったり、地域への愛着を再確認できたりと、若者にとって貴重な機会になっていると感じています。

私といたしましても、ご意見を伺い、これまでの行政の取組みが間違いではなかったという安堵感を覚えることもありました。今後も継続して取り組んでいただき、ひたち若者かがやき会議の皆さんが、「行政」と「若者」の架け橋になってくださることを心から期待しています。

また、メンバーからの報告の際には、悩みながら活動しているとお話もあったのですが、わずか3年という短い期間で、会としても、個人としても、飛躍的に成長・発展されていることは、とてもたくましく感じられ、若者たちが、本市の大きな財産になっていることを改めて、実感しています。

本市といたしましても、若者の意見を積極的に取り入れ、多くの若者が「日立市だったら、かがやける」と思い、足を運んでいただけるよう、本市を舞台に挑戦できる環境づくりを、若者とともに全力で取り組んでまいります。

**浅野** 小川市長自ら若い人々と接し、そして彼ら彼女らを応援していこうとしている思いが伝わってきました。私も日立市には若い人々を惹きつける魅力的な場所や人、チャンスが多くあると思います。「ひたち若者かがやき会議」の活動がこれからますます広がっていくように、私も応援を続けていきたいと思っています。



## 日立市の災害対策について

### 全庁一丸となって災害復旧基本計画の策定を進めている

**浅野** 昨年9月8日、茨城県内で初めて確認された線状降水帯により、日立市では大規模な土砂崩れや民家・企業への浸水など甚大な被害が発生しました。

国や県の支援もあり、その後の復旧作業は順調に進んでいます。今回の災害を教訓として今後の日立市の災害対策内容に補強箇所はありますか。

**小川** 今回の台風第13号に伴う、線状降水帯による豪雨災害は、本市にとって観測史上、最大の記録的な降雨をもたらした。市内全域にわたって、同時多発的に生じた災害でありました。

改めて、地球温暖化の進行に伴ない、自然災害が激甚化、頻発化していることと、自然の恐ろしさや、自然との共生の難しさ、一方では、災害ボランティアを始めとした人と人との絆の大切さや、次の災害への備えの重要性についても、認識を新たにしたところです。

今後の取組みといたしましては、今回の災害から謙虚に学び、明日の日立市のために、更なる安全・安心のまちづくりに取り組んでいく考えです。

その方向性といたしまして、何よりも市民の命を守る



行動につなげることが第一であり、同様の災害にも対応できるように、引続き、国や県の支援をいただきながら、ハード整備を着実に進めるとともに、河川氾濫などの災害が発生する前に、市民の皆様へ命を守るための行動をとっていただくための、ソフト面での対策を講じていくことが非常に重要となっています。

このため、今回の豪雨災害における、情報の収集や伝達方法の在り方を始めとする市の初動・応急対応や、市民の避難行動の把握を行なうなど、これらの検証を踏まえた必要な対策を整理していく考えです。

そのようなことから、今回の災害からの本格復旧に向けた取組みを、全庁一丸となって更に推進していくため、「日立市災害復旧基本計画」の策定を進めているところです。

計画には、市民の皆様をはじめ、地域、専門家の方々からの幅広い御意見をしっかりと反映していくことが肝要でありますので、学識経験者やコミュニティ、各分野の方々からなる市民懇話会を設置するなど、今回の災害対応について、多くの御意見をいただいています。

こうして多くの皆様方の声を集約し、ハード、ソフト両面から必要な対策を計画にまとめ、取組んでいくことで、豪雨災害からいち早く立ち直り、そして、次なる災害への備えを万全にしていきたいと思います。

**浅野** 災害対策に関して私は、今後自治体におけるソフト対策の重要性が更に高まっていくことが間違いない分野だと考えています。私自身も防災減災に関する知識を得る



ために、実は昨年「防災士」の資格を取得しました。防災インフラや市の防災対応能力の強化も進めていかなければなりませんが、最も重要だと感じるのは、市民の皆様の防災知識の底上げです。特に、高齢者だけで生活している世帯の皆様に対して、防災知識を能動的に提供する取組みを強化すべきだと感じます。今後の日立市の取組みにおいても、是非ご検討いただきたいテーマです。

## 2024年の見通し

### 「攻め」の発想で様々な課題を未来への推進力に変えていく

**浅野** 最後に、2024年の日立市の見通しや、小川市長ご自身の2024年の抱負についてお聞かせください。

**小川** ご承知のとおり、社会を取巻く情勢は、様々な課題が押し寄せ、かつてないほど厳しい時代に入っております。

私たちは、千年に一度の東日本大震災、百年に一度の新型コロナウイルス感染症というパンデミックと、この13年間で二度にわたる大きな災害に見舞われ、更に、昨年9月には、台風第13号に伴う線状降水帯による豪雨災害に遭ったわけですが、これらの災害の教訓を踏まえ、地域全体での防災力強化を図り、不断の備えを万全にし、更に



災害に強いまちづくりを進めていかなければならないと認識しているところです。

また、本市を取巻く環境は、本格的な人口減少を始め、深刻な少子高齢化、更には、時代が要請するデジタル化・脱炭素社会の実現に向けた対応など、直面する課題も複雑化・多様化している状況でございます。

こうした中、本年は、本市まちづくりの道標である総合計画前期基本計画が折り返しとなる中間年度を迎えることとなります。そしてまた、今年の十二支・辰年は昇り龍などに描かれるように、勢いよく活気あふれ、新たな始まりやチャンスのある年として期待されております。

私といたしましては、台風第13号の豪雨災害に屈することなく、新たなチャンスを見出す「攻め」の姿勢へと発

想を転換し、時代の変化や様々な課題を未来への推進力に変えて、総合計画前期基本計画に掲げた重要事業を着実に推進していかなければならないと、認識を新たにしたいところでございます。


今後も、市民の皆様との対話を大切に、ともに手を携えながら、安心と活力に満ち、心の高鳴りが感じられる、そんな誰もが笑顔輝くまちの実現に向け、全力で市政の舵取りに邁進してまいります。

**浅野** 本日は長い時間ありがとうございました。今後も小川市長の取組みには注目していますので、本年もよろしくお願いたします。

# 浅野さとし

## プロフィール

《略歴》  
 1982年9月生まれ  
 2005年3月 青山学院大学工学部卒  
 2007年3月 青山学院大学大学院  
 工学部研究科修了(理学修士)  
 2007年4月 株式会社日立製作所 日立研究所入社  
 2013年8月 日立製作所労働組合研究所支部執行委員  
 2015年9月 衆議院議員大畠章宏秘書  
 2017年10月 衆議院議員初当選(第48回衆議院選挙)  
 2021年10月 衆議院議員2期目当選(第49回衆議院選挙)



📡 各種SNSで 📡

### 浅野さとしの最新情報発信中!!

<LINE>



<YouTube>



地域の情報や  
 話題のニュース  
 についてわかり  
 やすく解説する  
 「浅野さとし  
 公式チャンネル」  
 はコチラから!

**要チェック!!**

Facebook・Instagramもチェック!

<h3>日立事務所</h3> <p>〒317-0071 茨城県日立市鹿島町 1-11-13        友愛ビル 1階        TEL 0294-21-5522        FAX 0294-21-3014        Mail: asano@asano-office.net</p>	<h3>ご意見・ご要望</h3>	<h3>国会事務所</h3> <p>〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1        衆議院第一議員会館 406号室        TEL 03-3508-7231        FAX 03-3508-3231        Mail: g17398@shugiin.go.jp</p>
--	------------------	---